

# 聴覚障害者に 災害時安心を

話すことや聞くことなどに障害がある人に対してリハビリを行う「言語聴覚士」を目指す福井医療大（福井市）の学生グループがこのほど、写真共有アプリ「インスタグラム」に成人聴覚障害者への災害支援などの情報を発信するアカウントを作成した。メンバーは「多くの人に見てもらい、聴覚障害者に理解を深めてほしい。災害が発生した際はサポートしてほしい」と呼びかけている。

（菅野佑斗）

## 福井医療大生5人 授業一環

アカウント名は「言語聴覚士のたまご」。同大保健医療学部リハビリテーション学科言語聴覚専攻3年の和多田凧紗さんらのグループ5人が授業の一環で作成した。

近年、自然災害が相次ぐ中、災害マニュアルには聴覚障害者の支援に関する記載が少なく、障害者への支援が後回しになる傾向があることなどから、「成人聴覚障害者への災害支援」をテーマに2年生の後期から現状や課題などを探ってきた。イベントを開き結果発表する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けインスタグラム

## インスタで支援情報



福井医療大の学生グループが作成したインスタグラムのアカウント「言語聴覚士のたまご」=同大

での発信に切り替えた。インスタグラムでは、メンバー5人が交代で週2回のペースで情報発信した。聴覚障害者は音から情報を得ることが困難なため、情報が迅速かつ正確に伝わらないことがあることを説明、コミュニケーションを助けするアプリなどを紹介している。

このほか、地震や津波、台風などを意味する手話も紹介。手話がとっさに思い出せないときは簡単なジェスチャーや表情などで伝えるようアドバイスしている。また、従来は対面方式だった公の相談窓口が新型コロナウイルスの影響で電話のみに限られていたり、聴覚障害者同士の交流の場が中止になったりしている現状を紹介。相談方法にファクスやメールを取り入れるよう訴えている。フォロワーは2500人以上に達し、メンバーの古道谷安那さんは「反響は予想以上でうれしい」と笑顔をみせ達成感をにじませた。また「言語聴覚士の仕事も知ってほしい」と話し、活動内容を紹介している。